




就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	ほまれの家長後店
住所	神奈川県藤沢市下土棚468-1湘南ヒルズ210号室
電話番号	090-7769-9150

事業所番号	1412202713
管理者名	和田 順子
対象年度	令和7年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所 ほまれの家長後店 実施日程 令和7年10月27日 参加利用者数 2名 本研修は、愛知県障害者職業センター柚木様実施の研修を受け、内容を十分に理解したサービス管理責任者が利用者を対象に開催した。 JST（職場での対人スキルトレーニング）の手順に沿って、職場で必要となる「謝り方」をテーマに研修を実施した。①職場でどうしても必要か/②自分ほどの程度可能かを整理し、③自分の目標を決めたうえで、④実際の場面を想定した練習（ロールプレイ）を行った。</p> <p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場でのミス発生時に、報告→謝罪→対応確認を適切に行い、トラブルの拡大を防ぐ。 ・相手の気持ちや考えを理解するヒントを得ながら、自分の気持ちや考えを職場の上司・同僚にうまく伝えられるようになる。 <p><成果></p> <p>【実施した成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・謝罪が求められる状況や背景を整理し、適切な謝罪の進め方を習得した。あわせて、モデル事例の確認やロールプレイの振り返りにより具体的な改善点を把握できた。 <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際の作業場面での般化（緊張時の声量・視線・タイミングを、日々のOJTと振り返りで継続して支援する。 	<p><活動の様子></p> <ul style="list-style-type: none"> ・謝罪が必要な場面や理由を整理でき、謝る際の基本手順（すぐに謝る/姿勢・表情に注意/その後の対応を確認）を理解できた。 ・モデル観察とロールプレイの振り返りにより、「言い訳より先に謝罪を伝える」「目を合わせてうなづく」など、具体的な改善点が明確になった。   
--	--

連携先の企業や事業所等の意見または評価

今後は、施設外就労先等での報告・謝罪場面について、担当者からのフィードバックを収集し、研修内容に反映する予定。
研修参加後、ミスの指摘について、まず謝罪から入ることが多くなってきたと感じる。作業中の報連相についても、端的に結論から伝えられることが増えていると感じる。

（事業所内研修として実施したため、連携先の企業や事業所等からの意見・評価は該当なし。）

連携先企業（担当者）	愛知県障害者職業センター 担当者：柚木 心平様
------------	-------------------------

利用者からの意見・評価

連携した結果に対する意見または評価

- ・謝る時に言い訳を先に言ってしまう癖に気づいた。まず「すみません」を言う練習になった。
- ・相手の目を見てうなづく、反省の気持ちが伝わりやすくなった。
- ・怒られるのが怖いほど、早めに報告することが大事だと思った。

今後の連携強化に向けた課題

- ・実際の作業中は緊張してしまうので、スタッフからの声かけや、振り返りの時間を作ってもらいながら練習を続けたい。
- ・施設外就労など実場面で、できた点・難しかった点を共有し、次回の目標設定につなげたい。